

日本共産党の 躍進で 1議席→2議席 戦争法案ストップ



日本共産党
子ども・子育て相談室長

宇田たか子

プロフィール ◇1963年群馬県生まれ。茨城大学人文学部(史学専攻)卒。小・中学校の臨時教員を経てはなのわ保育園に25年勤務。はなのわ保育園園長。2015年3月末退職。

【現在】日本共産党ひたちなか市委員会 子ども・子育て相談室長
【家族】一男二女、東石川3227-11在住。
電話 (272) 6195
uda.takako@angel.ocn.ne.jp

【主な活動地域】
一中・二中・田彦中・大島中学区
(上記学区内の高場、後野、上野、東中根団地は除く)



日本共産党
ひたちなか市議会議員

山形ゆみ子

【主な活動地域】
佐野中・三中学区、那珂湊地域

25年間、保育ひとすじに

私は、25年間保育園で働いてきました。今、大問題の戦争法案、子どもたちの笑顔と未来は、もう保育園の中だけでは守り切れません。

毎日国会では、どういふときに、どういふふうには日本は戦争に参加するか、という議論がされています。聞いていて、恐ろしくなります。

これは本当はおかしな議論です。日本は「二度と戦争はしない」と誓った国なのでから! 「武力行使による抑止力なしに平和は守れない」などというのは政府の詭弁です。この法案は国会での審議が進むにつれ、その違憲性がハッキリしてきています。

「僕のお父さんは、戦争に行くの?」

戦争法案が通ってしまえば、自衛隊員は戦場で「殺し・殺される」戦闘に巻き込まれることとなります。ひたちなか市には自衛隊の駐屯地があります。「僕のお父さんは戦争に行くの...?」と聞かれ「大丈夫、行かないよ」と答えたが、胸が詰まったという話を伺いました。

守りたい... 子どもの笑顔と未来

「まさか日本が戦争なんかするはずがない」と思いたいですが、軍靴の音はすぐそこまで来ています。政府は「国民の命と平和な生活を守るため」と言って、アメリカの始める戦争に海外にまで出かけて参戦しようとしているのです!

私たちが子どもたちに手渡したいのは、本当に! 笑顔で安心できる毎日です。テロの心配のない社会です。世界中の人々と協力し合える平和な未来です。

戦後70年のこの年を再び戦前にはなりません。世界に誇る憲法9条を生かした平和な日本を守り抜くために、全力を尽くします。ご支援をよろしくお願いいたします。

今、言わなければ 私も戦争法案に反対です

言論抑圧と規制...いつか来た道
「大本営発表」と云って「負けているのに、勝った勝った」と新聞に嘘を書かせました。
「本音をしゃべって何が悪い」と居直る政府の姿を見ると、戦前の亡霊が浮かび「怖」の一言。
(武田 近澤重男 82歳)

平和のソレを
憲法のもと戦後70年続いた平和を、そのまま子どもや孫に繋げたい。
この思いを妨げ、憲法をこわそうとする悪法、戦争立法に反対です。絶対に許せません。
(笹野町 息子・孫をもつ母 67歳)

市民の力で戦争法案ストップ
2015年の暑い夏、お父さんお母さん(おじいちゃん・おばあちゃん)は何をしていこうとしたのですか?
5年後10年後お父さんや、お孫さんに聞かれたとき胸を張って「平和国家のため、できる限りの努力をしてきたよ」と話せるように。
(青葉町 70歳 男性)

誰のための戦争法案なの...
「戦友たちは、おつかさんと行って死んだんだよ」と昨年世界した父が言っていた。
一度と戦争を繰り返さないと言った日本。今、誰のために平和憲法を変えるのか? 孫を、日本の子ども達を絶対に戦争に行かせたくない!!
(足崎 58歳 女性)

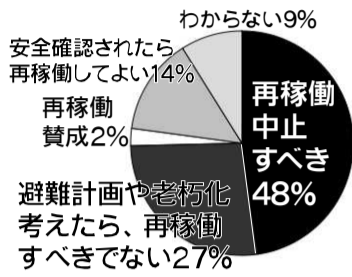
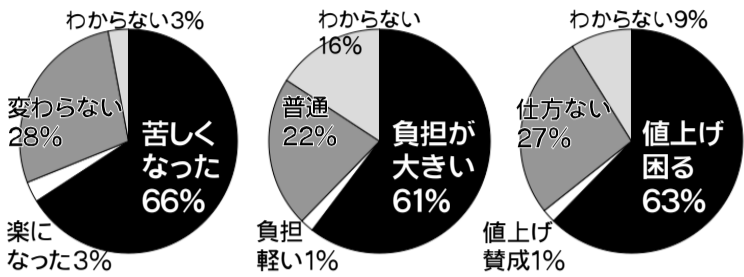
子どもたちの未来に平和が一番
米国の戦争に加担するために憲法違反である日本が恐ろしい。
武力での解決は暴力と憎しみの連鎖を生むだけ。そんな危ない日本を子ども達に残すわけにはいかない。
(勝倉 一児の母 48歳)

募金にご協力ください

アンケートへのご協力ありがとうございました

「苦しくなった」が 66% 日本共産党ひたちなか市委員会のアンケート結果

日本共産党ひたちなか市委員会の実施した「市民アンケート」には、増大する市のためこみ金（基金）とは裏腹に、切実な声がぎゅぎゅと寄せられています。



日本共産党 山形ゆみ子(左)・宇田たか子(右)

戦争法案反対緊急パレードに参加（水戸市）

現在の暮らし 国保税の負担 水道料金の値上げ

東海第二原発

議員や議会に求めること

税金の使い方を換え 暮らし優先の市政へ

市民の暮らしを犠牲に、135億円も「ためこみ」

自民・公明・民主が支える市政は、常陸那珂港などの無駄な開発のために税金を使い、一方で小中学校の耐震化が県内一遅れ、生活道路や学校のトイレの改修など、市民の願いが置き去りにされています。

また、3年に一度の介護保険料の改定では基準額で年間4,608円の値上げ。10月から水道料金が18.4%値上げされます。

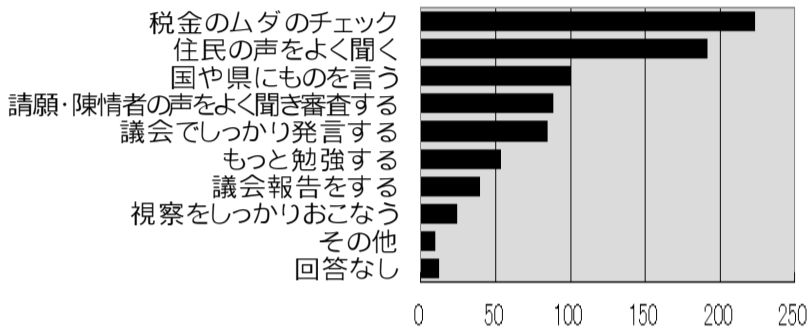
市民の要望には耳を傾けず、さらに職員削減で行政サービスを低下させながら、積み立てられた市のためこみ金（基金）は、135億円と過去最高にふくれあがっています。

このお金を市民のために使えば、いのち・暮らし・子育て最優先の市政に変えることができます。

県内主要4市のためこみ金

（財政調整基金・減債基金の合計 2013年度決算）

日立市（県内1番目）	181億円
ひたちなか市（県内2番目）	135億円
水戸市	84億円
つくば市	49億円



市民のいのち・暮らし守って 市政動かす日本共産党

市民の代弁者として議会ごとに毎回質問し、市民の願いの実現のため力を尽くしてきました。

■東海第二原発の再稼働中止を求める

老朽化している東海第二原発の再稼働中止を求め、毎回議会で質問してきました。

【市長答弁】市民の安全が確保されない限り再稼働はできないものと認識する。

■学校給食の民間委託をストップ

署名を集め、勝田地区学校給食の自校方式を守り、民間委託をストップさせました。那珂湊地区は今後センター方式から自校方式に移行します。

■子どもの医療費助成、中学卒業まで実現

安心して子どもを育てられるよう、子どもの医療費助成を求め続けてきました。この4月から、外来も入院と同じように中学卒業までの医療費助成が実現しました。

議案に対する態度（賛成○ 反対×）

請願、議案	共産	自民	公明	民主	社民	無所属
消費税増税中止を求める請願（2014年12月議会）	○	×	×	×	×	×
介護保険料値上げ条例（2015年3月議会）	×	○	○	○	○	○
水道料金値上げ条例（2015年3月議会）	×	○	○	○	○	○

この願いにこたえてがんばります

1から2議席で 願い実現に全力

日本共産党

- 東海第二原発の再稼働ストップ、廃炉に
- 子ども・子育て支援、保育・学童保育への支援・拡充
- 国保税、介護保険料・利用料の引き下げ
- 高校卒業までの医療費無料化
- 小・中学校の環境整備（マンモス校の解消、トイレの改修、普通教室のエアコン設置など）
- 一人ひとりが大切にされる教育の充実
- 住宅・店舗リフォーム助成制度の実現
- 10月からの水道料金値上げ中止を
- 消費税10%増税ストップ



日本共産党演説会

● 九月二〇日（日）午後二時～
 ● ワークプラザ勝田
 ● 弁士 衆議院議員 梅村さえこ
 市議会議員 山形ゆみ子
 子ども・子育て相談室長 宇田たか子